

Ver. 3.17
2019.11.03

TPチャートの作成と授業改善

東京大学 大学総合教育研究センター
副センター長・准教授 栗田佳代子

目次

- 第1部 (TP : ティーチング・ポートフォリオ)
 - はじめに
 - TP と TP チャート
 - TP チャートを作る
- 第2部
 - TP チャートを見直す
- 第3部
 - TPチャートを活用した改善
 - 参考文献

専門 名前	作成 目的	感想	
責 任	理念		目標
	方針		
	方法		
	改善・努力		成果・評価

第1部

はじめに

自己紹介 ～栗田佳代子～

• 所属

- 東京大学 大学総合教育研究センター
- 東京大学 大学院教育学研究科附属学校教育高度化・効果検証センター

• 専門

- 高等教育, ファカルティ・ディベロップメント
 - バックグラウンドは教育心理学, 心理統計学

• 担当プログラム

- 東京大学フューチャーファカルティプログラム(東大FFP)
 - 「教えることを学ぶ」実践的プログラム
 - <http://www.utokyofd.com/>
- インタラクティブ・ティーチング
 - 「教えることを学ぶ」オンライン講座

• メールアドレス

- kurita@he.u-tokyo.ac.jp

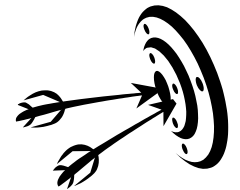
今回の目的と到達目標

- 目的

- TPチャートの作成を通して、教育活動を俯瞰し、日頃の活動の理念・信念を明らかにして、これからの授業をよりよく変える

- 到達目標

- TPチャートの作成を通して、
 - 教育活動を俯瞰できる
 - 教育理念に自ら気づいて書ける
 - 教育理念と方針・方法の結びつきを説明できる
 - 長期目標・短期目標を設定できる
- TPチャートをふまえた授業改善ができる



TP と TP チャート

教育理念を明らかにすることの価値

- 教員にとって
 - 教育者としての**アイデンティティ**の確認
 - **プロフェッショナル**としての教育責任の定義
 - 自分の**行動原理の明文化**
 - 安定的で継続的・長期的な**教育のガイダンス**の提供
 - 教育者としての**成長の支え**
- 組織にとって
 - 組織の理念と教員個人の理念がどう位置づくのかを問うチャンス
 - 教育重視のカルチャーを教員に伝える機会
 - 教員や学生の変化をとらえる文書
- 学生・生徒にとって
(シェアされることで)
 - より生産的に学びにエンゲージできる
 - 教育理念の共有のゴールは「明示的な」学生のサポートと尊重

(Goodyear & Allchin 1998)

ティーチング・ポートフォリオ (TP) とは

- 自らの教育活動について振り返り, その記述を根拠資料 (エビデンス) によって裏付けた厳選された記録
(栗田訳, セルディン著 2007)
- A4判で8ページから10ページほどの本文とエビデンスから構成される文書

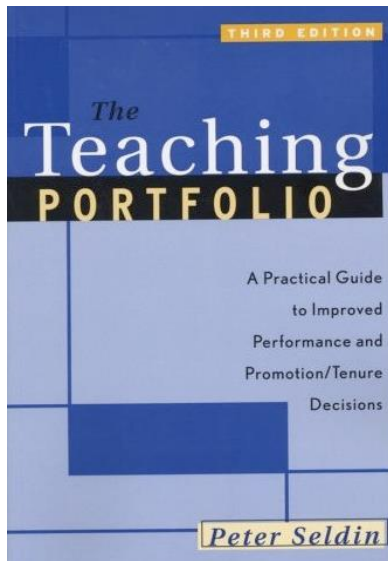
作成の目的

学校種に限らず重要

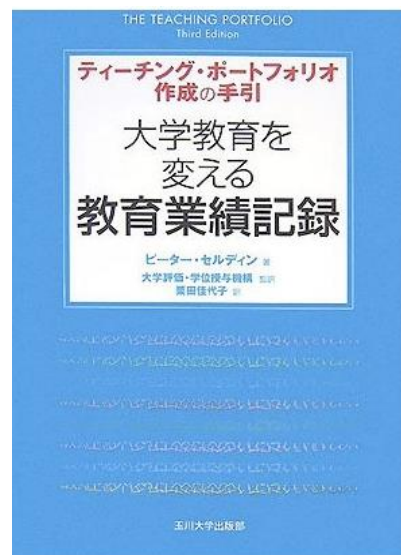
- 教育改善
- 教育活動の可視化
 - 多角的な教育業績評価資料
 - 優れた取り組みの共有
 - 情報発信

高等教育における普及の現状

- 欧米では教育業績評価資料として広く普及
- 日本では主として教育改善ツールとして普及途上
 - 中教審答申(2008)「学士課程教育の構築に向けて」
 - 日本では約30機関が導入済, およそ700名が作成



セルディンの原著



栗田の訳書

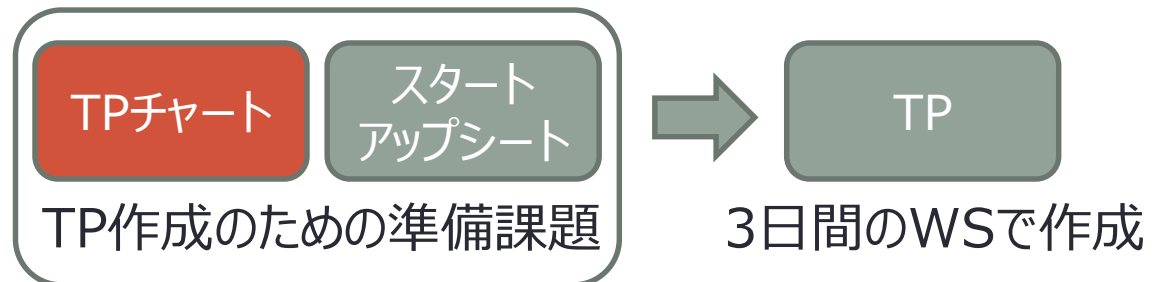


大学や高専における実践・活用書



TP チャートとは

- 教育活動の俯瞰と振り返りを行い，授業改善につながることを目的としたA3判のワークシート
- もともとTP作成の体験ツールとして開発
TP作成の事前準備としても利用される
- 特徴
 - 個人の教育活動の視覚的整理
 - 自己省察による俯瞰と構造化
 - 短時間で作成が可能




研修例



TP チャートを作る

TP チャートの作成

- 作る流れについて
 - 普段の活動から背後の深い思考・姿勢にせまります
- ふせんについて
 - 一つのふせんに一つの事項を記入します
 - 黄：これまで・現在のこと
 - 青：これからのこと
 - ：個人エピソード
- 基本的に黄色の大きなふせんを使います
- 異なる色, サイズのふせんを使う場合には適宜お知らせします
- シェアを行いますので丁寧な字でお願いします

専門
名前

作成
目的

感想

3 min

理由

基本情報の記入

- ・専門と名前を直接記入してください
専門の例) (小中高) 数学, 英語, 日本史
(大学等) 看護学, 生体医工学
- ・作成目的を直接記入してください
例) 授業の改善, 気づきを得たい, 活動を整理したい

任

方法

専門と名前はペアでのシェアの時に使います
目的を定める理由は, 作成する意識を高めるためです

直近 1 年以内の教育活動をあげてください

授業の例) 古文 1年A組
統計学 必修

その他) 進路指導 就職指導
剣道部顧問 入試問題作成
オープンキャンパス 運動会進行担当
カリキュラム開発 研究室指導
新任教員メンター

6枚以上になりそうなら
ふせん小

責任

あなたが教育活動だと思うものは全て挙げてもらって構いません
これらは教育を振り返るための材料だと思ってください

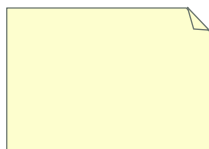
教育活動における改善

および努力（改善を目的とした活動）をあげてください

改善の例) 反転授業の導入
ルーブリックの導入

努力の例) 授業改善の研究会に週1回参加
アクティブラーニングについての勉強会を主宰
授業力向上のためのオンライン講座を受講
TPチャートの作成

3枚以上になりそうなら
ふせん小



改善・努力

成果・評価

教育活動によって得られた生徒・学生の成果および生徒・学生・第三者からの評価をあげてください。

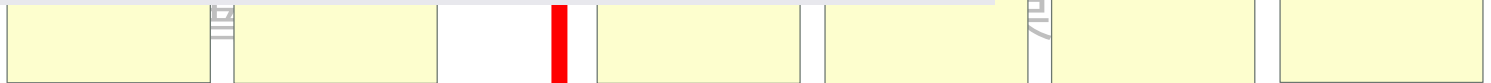
成果の例) 生徒の生物への興味が向上
試験の平均点が向上
部が大会で優勝



5枚以上になりそうなら
ふせん小

評価の例) 授業評価アンケートの結果
授業見学した同僚からのコメント
授業研究会で得たコメント
優秀教員賞を受賞

成果・評価に書けることは少ないかもしれませんが、成果・評価を意識することが大事であるため、少なくとも問題ありません！



自己紹介, 責任, 改善・努力, 成果・評価

所属・専門についての自己紹介をしましょう。

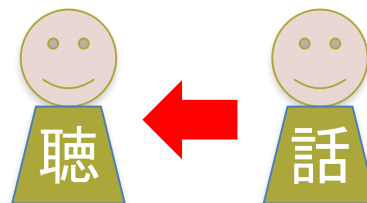
手元のチャートをもとに,
教育活動として行っていること, および改善・努力,
成果・評価について相手に説明しましょう。

シェアのルール

敬意を持って
忌憚なく
建設的に

<話し手>

- 教育活動をわかりやすく説明する
- 専門用語は極力使わないか相手にわかるように説明する



<聴き手>

- まずは興味を持って聴くことに徹する
- 相手をしっかりと受け入れる
- 相手の振り返りを深めることを目的にしたフィードバック（反応・質問など）をする

これまでの教育経験において以下のものを挙げてください

いつも行っていること

重要視して用いていること

自分の教育を特徴づける方法

「考え」ではなく「行い」を書いて下さい

例) 小テストを授業最初に毎回している
授業開始・終了時間を厳守している
教科書を使わない
発言の機会を多くつくる
グループ活動を多用している
一緒に休み時間に遊ぶ

理念を見出す土台となるため、とにかくやっていることを書き出してみることが大切です。授業の準備をする時、実際に実施する時にやっていることを思い出してみましょう。

以下の観点を参考に、なぜ書き出した「方法」を用いているのか、といった理由を考えてください。その理由を「方針」としてあげてください。

- ・なぜ生徒・学生にとってこの方法が大切なのか？
- ・この方法を使って生徒・学生にどう成長してほしいのか？
- ・学問のなにをどのように学んでほしいのか？

似ている「方法」があればグルーピングしてください（次ページ参照）。

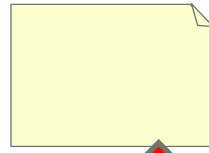
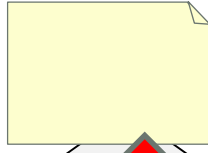
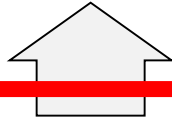
- 例) ・ (方法) 「小テストの実施」
→ (方針) 「基礎知識を確実に身につける」
- ・ (方法) 「授業開始・終了時間を厳守している」
→ (方針) 「教員が自らルールを守る」という方針
 - ・ (方法) 「発言の機会を多くつくる」
(方法) 「グループ活動を多用している」
→ (方針) 「仲間との活動で学びが深まることを実感させたい」

方針

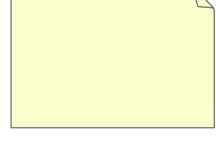
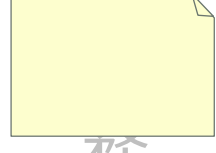
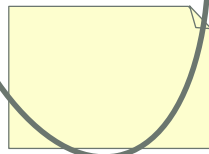
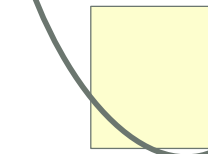
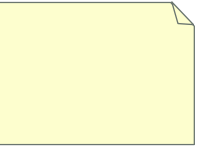
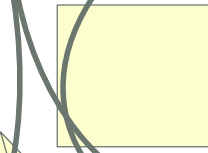
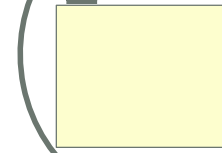
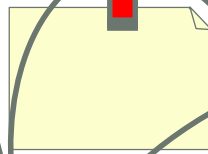
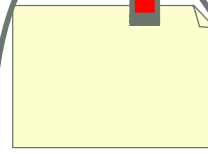
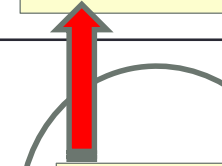
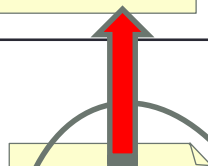
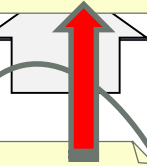
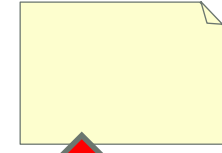
感想

理念

目標



針



グループは線で囲み、2つ以上みつけてください。

「方法」のふせんが一つしかないグループ、あるいは複数のグループにまたがる「方法」のふせんがあってもよいです。

目標

「理念」に「方針」であげた事項をグルーピングしながら、その方針を用いている理由をあげてください。次の観点が理念を見出すヒントになります。

- ・どう成長してほしいか
- ・教員としてどうありたいか
- ・学問の何をどのように学んでほしいか

みなさん独自の理念を見出してもらうことが大事なので、ここではあえて例を出しません。是非みなさんなりの理念を見出して下さい。

目標

「理念」について、理念を持つに至った個人的なエピソード（影響を受けた人物、影響を受けたできごと）があれば**りんごのふせん**にあけてください。

そして、新たに理念が見つかったら、それをふせんに書き出して、「理念」のところに追加してください。

例) (エピソード) 「担任でもないのに、いつでも真剣に相談にのってくれた小学校の音楽の先生」
→ (理念) 「〜〜〜」

目標

「理念」「方針」「方法」が対応づいているかどうかについて確認をしてください。

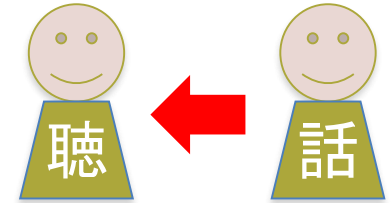
第2部「TPチャートを見直す」に詳しい対応づけのチェックの方法が載っているので、必要に応じてそちらのスライドを参照下さい。

教育理念と方針・方法

手元のチャートをもとに、「教育理念」および「理念を具現化している方針・方法」とともに、相手に説明しましょう。

シェアのルール

敬意を持って
忌憚なく
建設的に



<話し手>

- 理念と方針・方法の対応付けを説明する
- 一つずつ理念についてその具現化として方針・方法をひもづける

<聴き手>

- まずは聴くことに徹し、受け入れる
- 相手の振り返りを深めることを目的にしたフィードバック（反応・質問など）をする

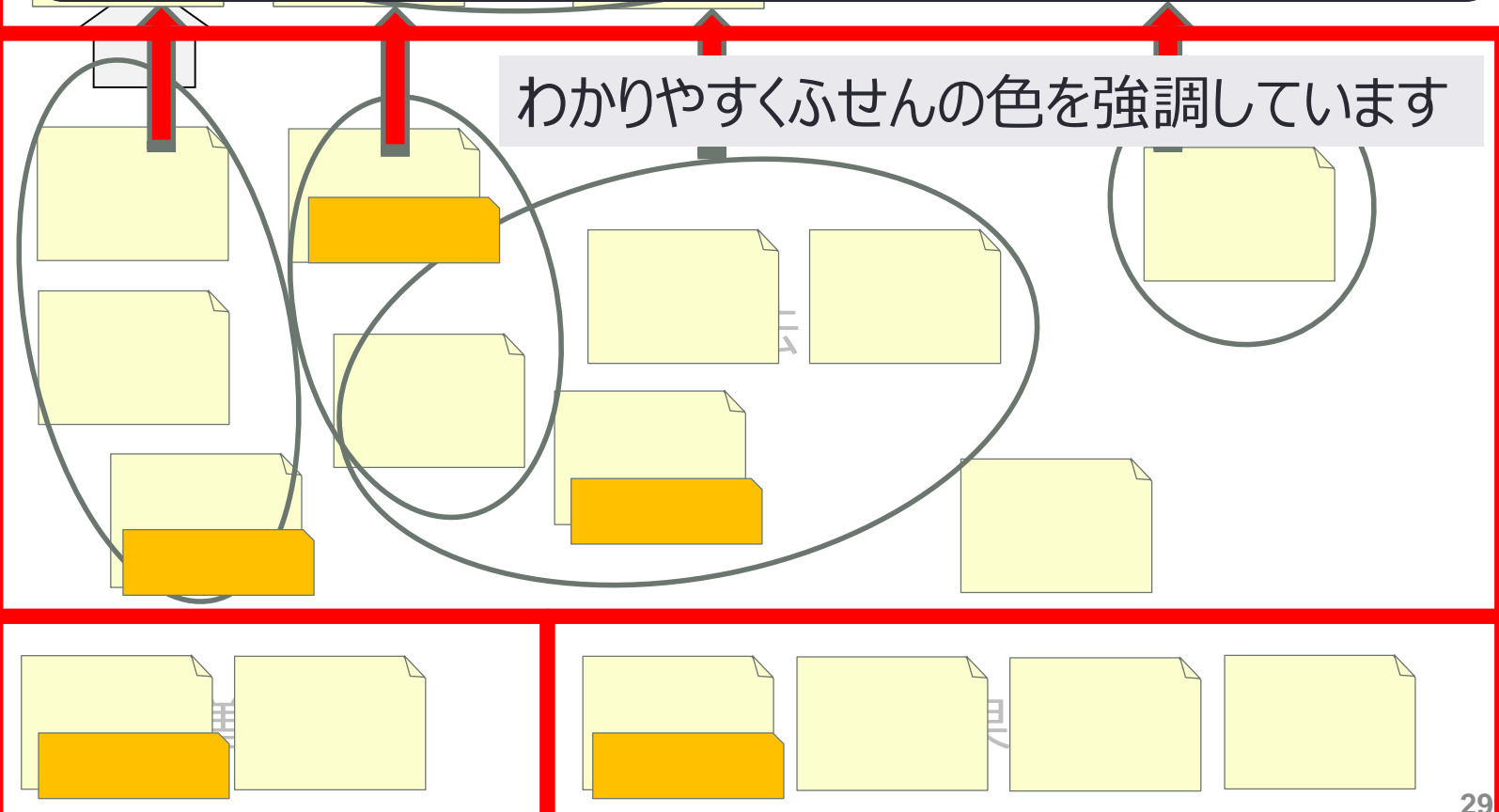
対話をもとにした修正

4 min

対話のなかで、新しく考えたこと、整理し直したことを、チャートに反映させてください。

赤い枠で囲まれた部分（責任，改善・努力，成果・評価，方法）のふせんに書かれたことの根拠資料（エビデンス）を黄色の**ふせん小**に記入し，該当するふせんに重ねてはって下さい（例は次ページ）。

わかりやすくふせんの色を強調しています



例)

責任：時間割
任命書
シラバス

改善・努力：勉強会のチラシ
研修の参加証
資格取得証

成果・評価：優秀なレポート例
授業評価の結果
同僚からのフィードバックコメント
生徒の進路データ

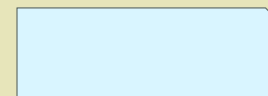
方法：配布資料の現物
テスト問題
グループワークの課題資料
授業ノート
授業の様子の写真

目標

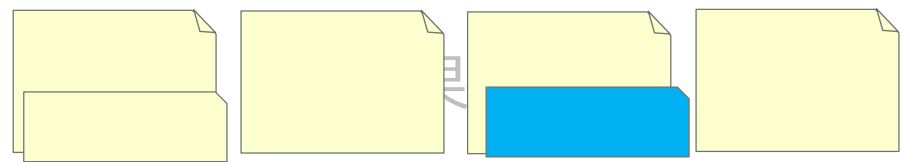
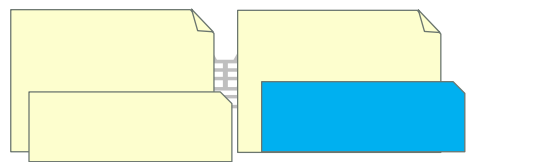
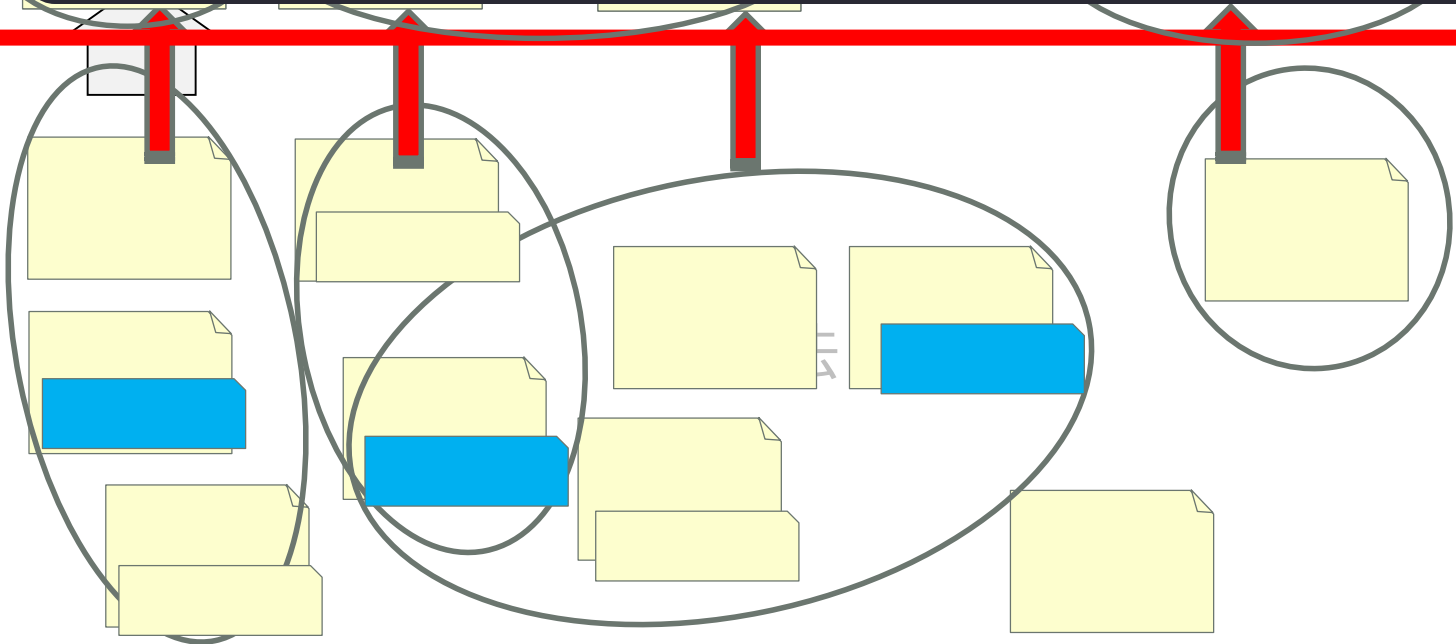
全部に貼れなくても
全く問題ありません。
やったことのエビデンス
を持っておくことが
大事である、という
感覚を持ってもらい、
今後、エビデンスを
残す習慣をつけること
が重要です。
一方エビデンスをとる
ことが目的化しない
ようにも注意してくだ
さい。

エビデンス

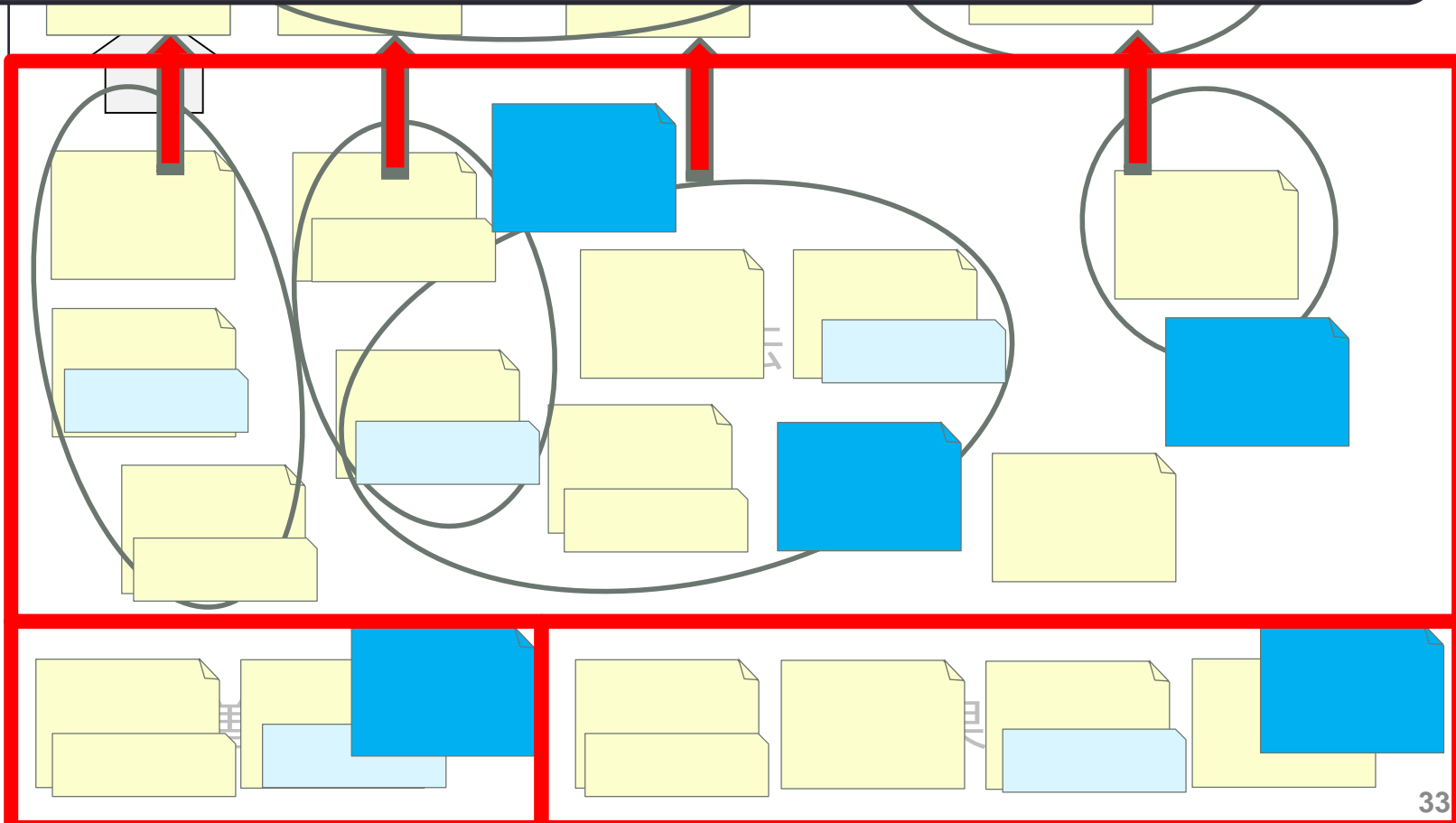
ふせん小をつけられなかったふせんのエビデンスを互いに考えましょう。考えたエビデンスは青のふせん小に挙げ、該当するふせんに重ねてはりましょう（次ページ参照）。



互いにエビデンスの黄ふせんがはられていないところについて、
どのようなエビデンスがとり得るか検討します。
見つかったら青ふせんに記入して追加しましょう



短期目標として「方法」「改善・努力」「成果・評価」に書き出して見ましょう。できる・できないが明確にわかるよう具体的に書きましょう（例は次ページ）。



目標

例)

方法:ループリックをとりいれる

ポスター発表をとりいれる

授業案をつくり, 毎授業後に改善する

改善・努力:クラス運営についての研修に参加する

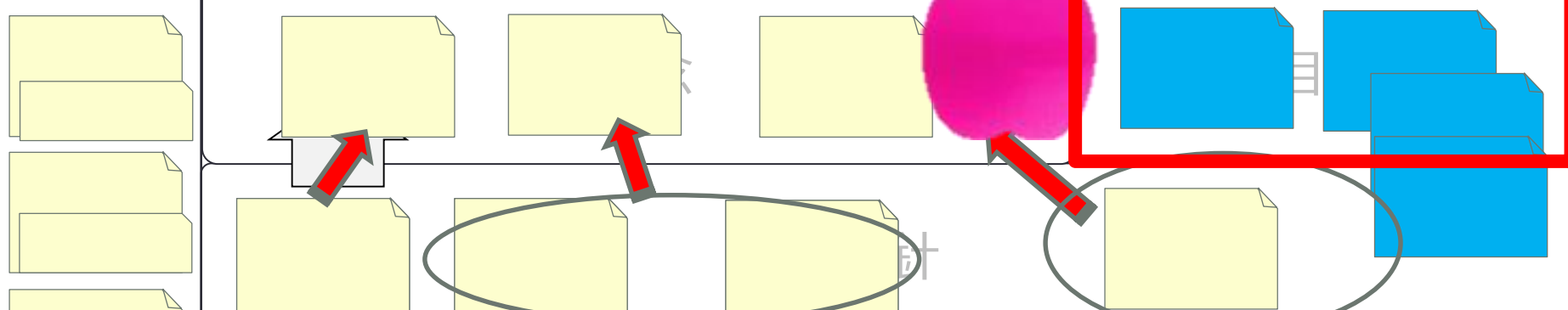
教科教育に関する研究集会に参加する

成果・評価:授業内容への興味・関心度を高める

模試の学校平均を○点に上げる

教育実践について学会で発表する

生徒の研究を○○へ応募する

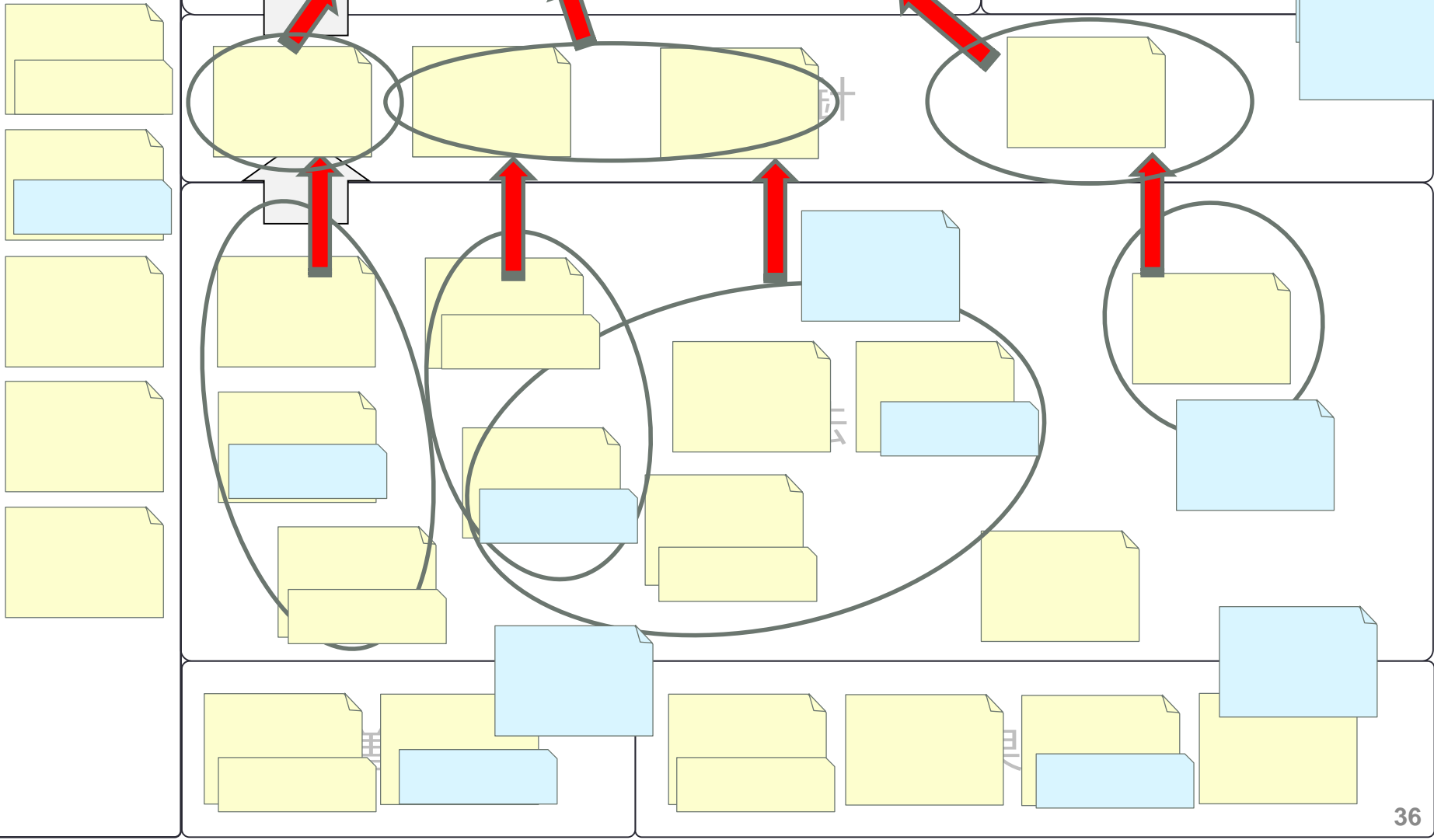


全体を見渡し、今後達成したいと考える教育に関する目標を考え「目標」のところに書き出しましょう。その目標に向けた短期目標が設定出来る場合にはそれも具体的に書きましょう。

例) 単なる受験対策ではない生きる力として必要なことを教える授業をつくりたい

そのための短期目標：
 国内外の理想の実践を探す
 学内外で仲間を見つける
 正規授業とは別にやってみる

TPチャート作成をふりかえり，感想を記入してください。



目標と感想

手元のチャートをもとに、ご自身の理念をまえおきにしつつ、長期目標および短期目標を中心に説明してください。

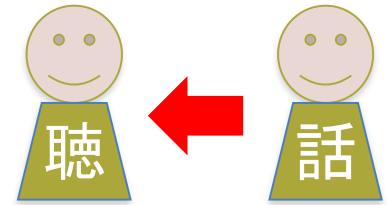
あわせてTPチャートを作成してみた感想をシェアしてください。

シェアのルール

敬意を持って
忌憚なく
建設的に

<話し手>

- 目標を決意表明として相手に説明する
- TPチャートを作成した感想を伝える



<聴き手>

- 聴くことに徹し, 受け入れる
- 相手の振り返りを深めることを目的にしたフィードバック（反応・質問など）をする
- 否定しないこと

TPチャートを作成しました

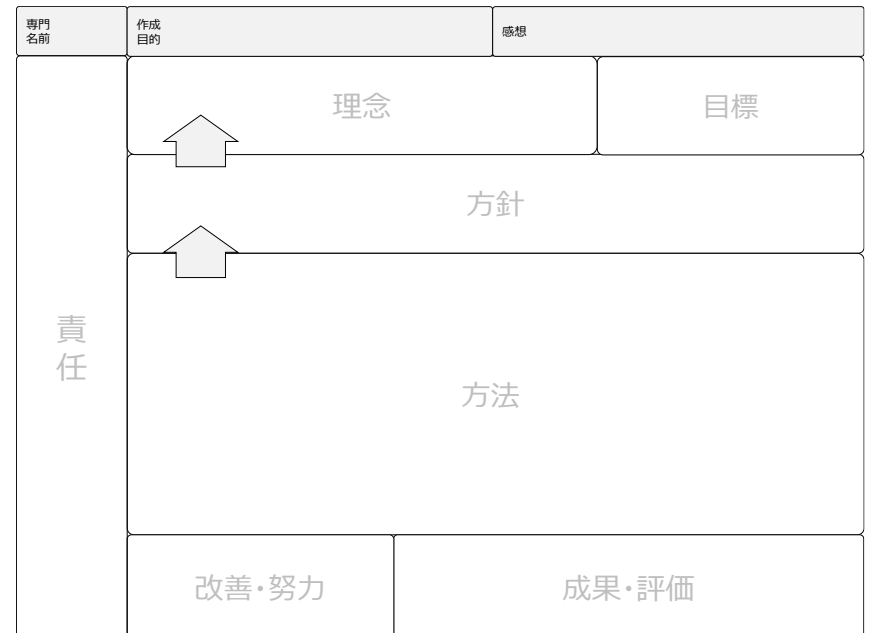


- 作った今日がスタートです
更新をしていくことが改善につながります
- ・ 青の付箋を黄色に
 - ・ 方法の進化
 - ・ よりしっくりくる理念、あるいは安定した理念への気付き

第2部 TP チャートを見直す

TP チャートを見直す意義

- 理念と方針を中心に TP チャートを見直すことで
 - 理念を明確に見出すことができる
 - 理念と方針の対応づけがより明確になる
 - これらを通してより深い振り返りが実現する



見直しを促す質問

- 理念をチェックする質問

- 質問1: なぜその理念が大事なんですか？
 - 本当に理念かどうかをチェックする質問
- 質問2: あなたにとって〇〇とはなんですか？
(〇〇: 楽しい、幸せ、おもしろいなど)
 - より具体的な理念を明らかにする質問
- 質問3: 〇〇と△△はどのような関係ですか？
 - 理念に関する深い理解を促す質問 (〇〇、△△は理念の要素)

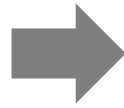
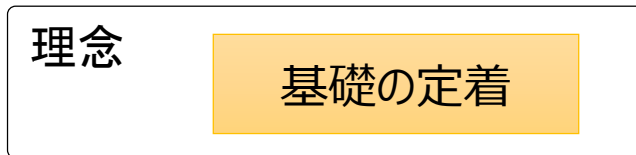
- 方針と理念をチェックする質問

- 質問4: その方針で理念を実現できますか？
 - 理念に対して方針が足りているかをチェックする質問
- 質問5: その方針と理念はどう関係していますか？
 - 方針に対して理念が足りているかをチェックする質問

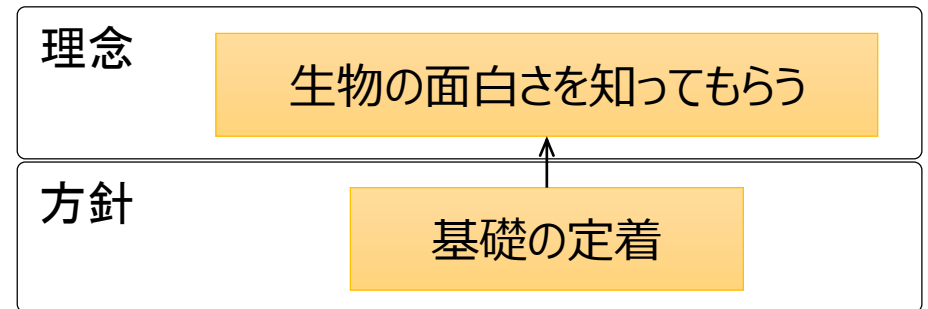
質問1: なぜその理念が大事なんですか？

- 答えがなければ，それは理念
答えがあれば，その答えが理念に近い

改善前



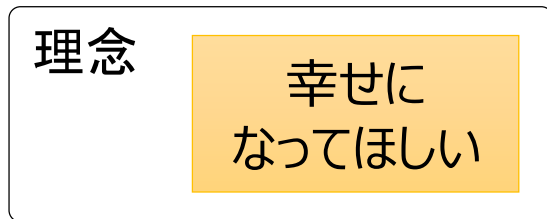
改善後



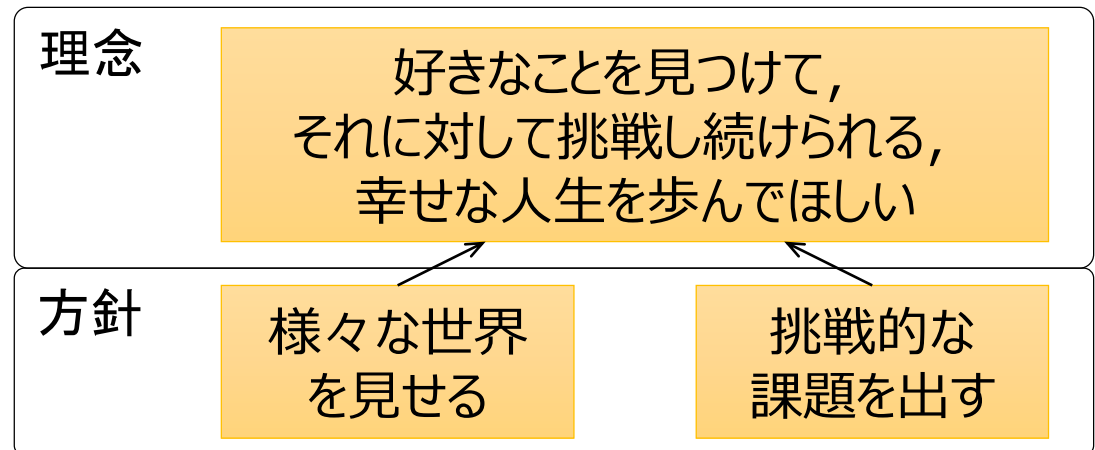
質問2: あなたにとって〇〇とはなんですか？

- 抽象的な理念を具体的に表現できるようになる
(〇〇: 楽しい, 幸せ, おもしろいなど)

改善前



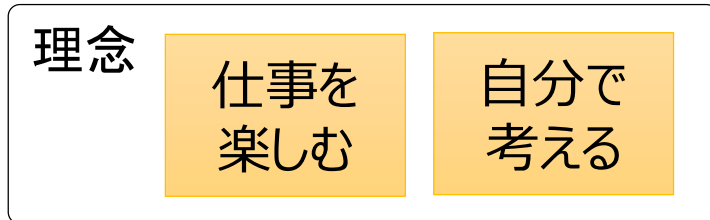
改善後



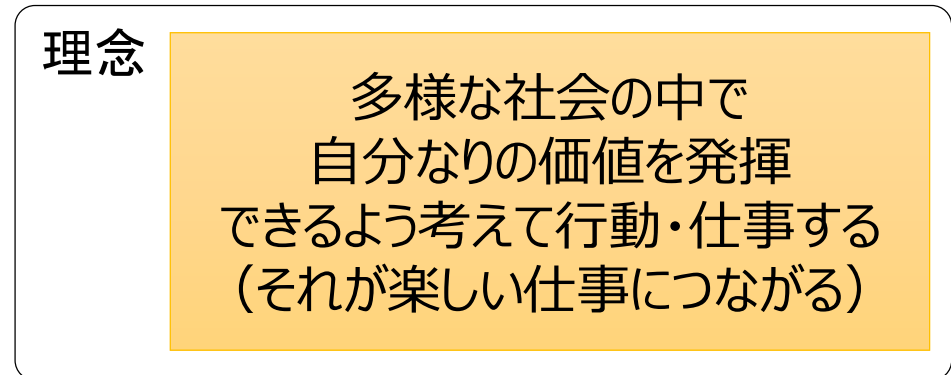
質問3: ○○と△△はどのような関係ですか？

- 関係性を説明することで、理念を深く理解できる
(○○、△△は理念の要素)

改善前



改善後



ピアレビューの注意点

- 相手の理念を見出すことを最優先にしてください
- 相手の理念を尊重して、否定しないでください
- 問いかけは建設的に行い、相手の気づきを促すことをこころがけてください

理念は相手のものですから
指導・詰問ではありません！

理念を深める他の質問

- 個人エピソードは理念にどのように影響していますか？
- 生徒・学生にどう育ってほしいですか？
- 教員としてご自身がどうありたいですか？

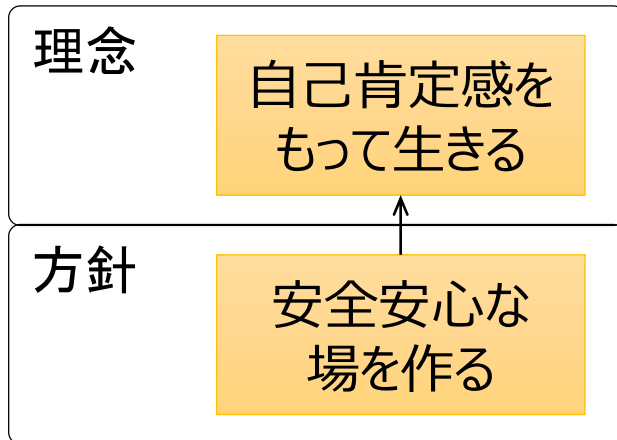
質問 1, 2, 3 を活用したワーク

- (1人) 理念の要素一つ一つに対して、質問を使って自問自答する (3分)
 - 質問1: なぜその理念が大事なんだろうか?
 - 質問2: 自分にとって〇〇とはなんだろうか? (〇〇: 楽しい、幸せ、おもしろいなど)
 - 質問3: 〇〇と△△はどのような関係だろうか?
- (ペア) お互いの理念の要素を質問を参考にしながら確認する (6分×2)
 - 質問1: なぜその理念が大事なんですか?
 - 質問2: あなたにとって〇〇とはなんですか? (〇〇: 楽しい、幸せ、おもしろいなど)
 - 質問3: 〇〇と△△はどのような関係ですか?
- (全体) 疑問・コメントを共有

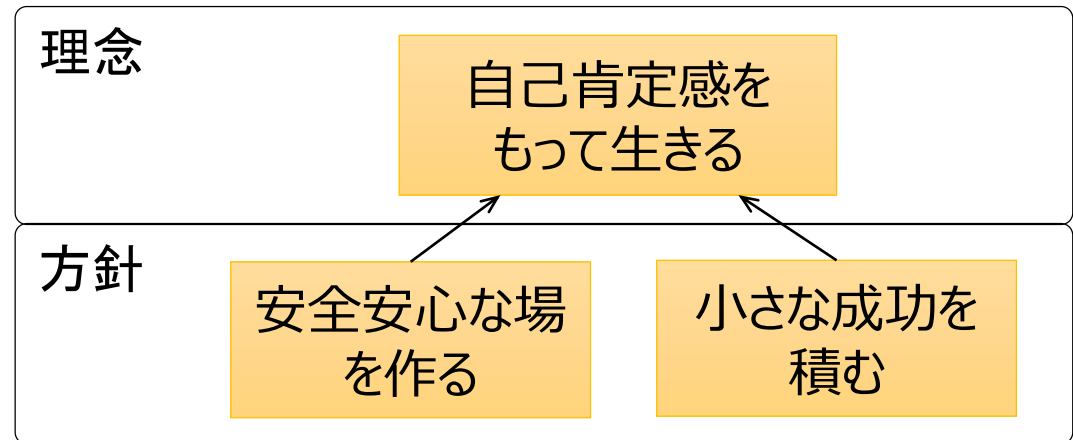
質問4: その方針で理念を実現できますか？

- 理念に対して方針が足りているかチェックできる

改善前

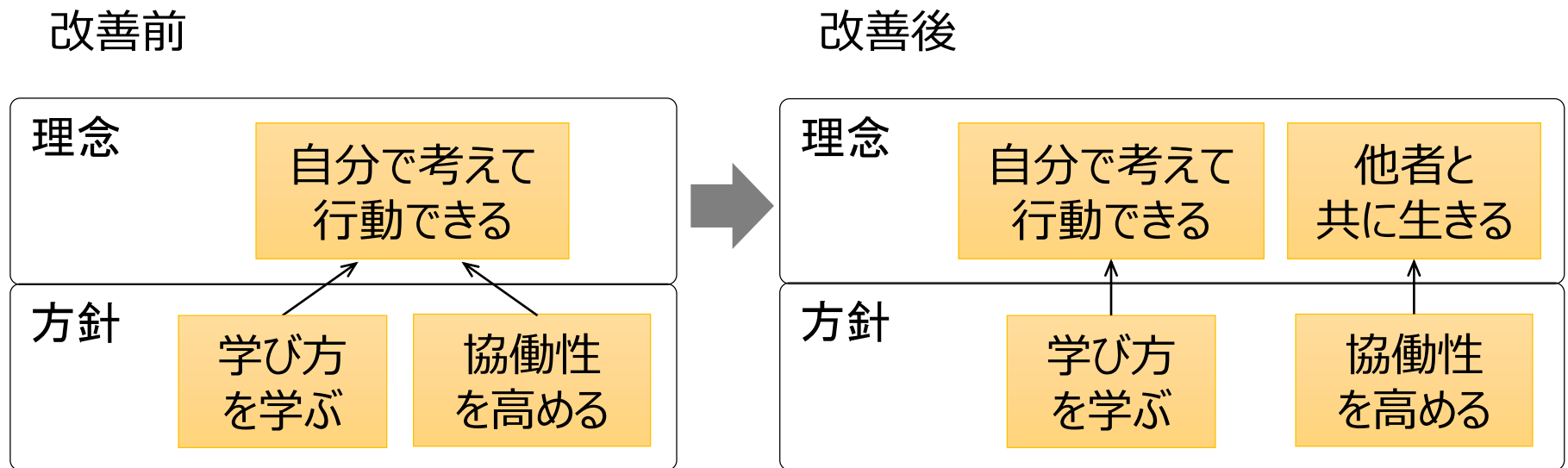


改善後



質問5: その方針と理念はどう関係していますか？

- 方針に対して理念が足りているかチェックできる



質問 4, 5 を活用したワーク

- (1人) 理念の要素一つ一つに対して、
質問を使って自問自答する (3分)
 - 質問4: その方針で理念を実現できるだろうか?
 - 質問5: その方針と理念はどう関係しているだろうか?
- (ペア) お互いの理念の要素を質問を
参考にしながら確認する (6分×2)
 - 質問4: その方針で理念を実現できますか?
 - 質問5: その方針と理念はどう関係していますか?
- (全体) 疑問・コメントを共有

まとめ

- (ペア) 話し足りなかったところを話す (5分)
- (全体) 疑問・コメントを共有

専門 名前	作成 目的	感想	
責 任		理念	目標
	↑	方針	
	↑	方法	
		改善・努力	成果・評価

TPチャートをみなおしました



教育活動のより深いとらえかたができましたか？
どんな気づきがありましたか？

(参考)

研修・勉強会を実施する

研修・勉強会を実施する

- おすすめする流れ
 - TP チャートを作る（2時間30分）
 - 時間を区切ってチャートの作成を促します
 - TP チャートを見直す（1時間）
 - 質問を参考にしながらチャートの見直しを促します
 - TP チャートをもとに授業改善する（2時間45分）
 - チャートをもとに理念や方針を共有した後、具体的な教育方法の改善に関する議論を促す

実施する際の注意点

- TP チャートを作る
- TP チャートを見直す
 - 安心・安全な場をつくる
 - 相手の理念を見出すことを最優先するよう促す
 - 相手の理念を否定しないように促す
 - 具体的な教育方法の議論を行わない
- TP チャートをもとに授業改善する
 - 相手の理念を尊重した上で教育方法の議論を行うよう促す
 - × この方法を使った方が良い！
 - ○ その理念・目的ならば
この方法も1つ考えられるかもしれません

実施する際の準備物

- TP チャートを作る
 - (講師) TP チャート A3 参加者数分
 - (講師) ふせんセット 参加者数分
 - ふせんセット: 黄色大 (653RP-Y) 50枚, 青色大 (653RP-B) 25枚, 黄色小・青色小 (700RP-GK) 25枚ずつ, **りんご (SSS-APN) 5枚** (括弧内は 3M 社の型番です)
 - ふせんが用意できなければ1種類でやってもらっても構いません (1種類の場合, 100枚ほど用意) ふせんを用意するのが重要ではなく, 作ることが重要です
- TP チャートを見直す
 - (参加者) 作成した TP チャート
- TP チャートをもとに授業改善する
 - (参加者) 作成した TP チャート
 - (参加者) 授業案などの授業改善に関する資料

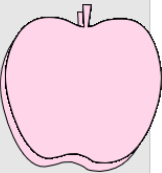
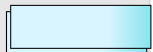
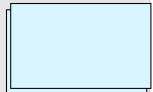
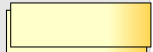
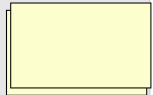
TPチャート作成参考資料

- 栗田佳代子・吉田壘・大野智久 (編著) (2018)
「教師のための『なりたい教師』になれる本!」
学陽書房
初等中等教育担当の先生向けに書かれたTPチャートの作成・見直し・活用についてまとめてあります
- 栗田佳代子・吉田壘 (2018) 「教師個々の軸を確立し、組織づくりへ」キャリアガイダンス 422, 35-39
<https://shingakunet.com/ebook/cg/422/#page=35>
TPチャートについてコンパクトにまとまっている記事です。
- 栗田佳代子・吉田壘 (2018) 「ティーチング・ポートフォリオ作成講座」看護教育 4月号 (58号) ~ (連載)
ティーチング・ポートフォリオ作成までを12回の連載で紹介します。
5月号が「TPチャートの作成」です。
- <https://kayokokurita.info/>
TP・TPチャート関係の各種資料がダウンロードできます。
- Facebookグループ ティーチング・ポートフォリオ (TP)
<https://www.facebook.com/groups/TP2007/>
開催情報、各地の開催報告などの共有がされています。



デジタル版TPチャートについて

付箋が枠外に積んであります



上記に付箋が重ねてありますので、ドラッグしてお使いください。
足りなくなったらコピーしてください。

専門 名前	作成 目的	感想
責任	理念	目標
	方針	紙のワークシートと 同じ
	方法	
	改善・努力	成果・評価

© 2016 Kayoko Kurita

ティーチング・ポートフォリオ研究会

ティーチング・ポートフォリオ研究会

Association for Teaching Portfolio

ホーム

研究会について

会員仮登録

TP とは

資料

ニュース

お問い合わせ

□ ホーム >

a4tp.info

本ホームページについて

ティーチング・ポートフォリオ研究会のホームページです。
ティーチング・ポートフォリオに関連する情報を発信していきます。
本研究会に関する詳細については[こちら](#)をご覧ください。

ニュース

TP研究会のチラシ作りました

ティーチング・ポートフォリオ研究会のチラ ...

□ サイト内検索

検索

最近の投稿

TP研究会のチラシ作りました
第1回 TP 研究会総会のお知らせ
規約・規則を追加しました！
ホームページを開設しました！

TP パンフレットご要望の方へ

TP のパンフレットをご要望でしたら、[お問い合わせ](#)から、使用目的、必要部数、送り先住所の情報をお送りください。担当者が確認の上、指定された住所へパンフレットをお送り致します。

参考文献

- Goodyear, G. E., & Allchin, D. (1998). Statements of teaching philosophy. *To improve the academy*, 17(1), 103-121.
- Kurita, K. (2013) Structured strategy for implementation of the teaching portfolio concept in Japan, *International Journal for Academic Development*, *International Journal for Academic Development*, 18(1), 74-88 (DOI :10.1080/1360144X.2011.625622)
- 栗田佳代子, 吉田壘, 大野智久 (編著) (2018) 「教師のための『なりたい教師』になれる本!」 学陽書房
- 栗田佳代子(編) (2012) 「ティーチング・ポートフォリオの導入と次のステップ — 導入とその先の課題, および更新ワークショップの提案 —」 大学評価・学位授与機構
- 栗田佳代子(編) (2014) 「ティーチング・ポートフォリオの定着・普及に向けた取り組み—効果検証・質保証・広がり」 大学評価・学位授与機構
- 栗田佳代子, 加藤由香里, 井上史子, 尾澤重知, 北野健一, 城間祥子, 皆本晃弥 (2010) ティーチング・ポートフォリオ: 導入の意義と可能性, *大学教育学会誌*, 32(2), 55-59
- 国立高等専門学校機構「モデルコアカリキュラム (試案)」
<http://www.kosen-k.go.jp/news/news20120419.html>
- 皆本晃弥. (2012). ティーチング・ポートフォリオ導入・活用ガイド: 大学教員の教育者としての業績記録. 近代科学社.
- 大阪府立大学高専ティーチング・ポートフォリオ研究会 (編) 『実践 ティーチング・ポートフォリオ スターターブック』, NTS出版
- Yoshida, L., & Kurita, K. (2016). Evaluation of Structured Academic Portfolio Chart and Workshop for Reflection on Academic Work. *Procedia Computer Science*, 96, 1454-1462.
- 大学評価・学位授与機構監訳・栗田佳代子訳 ピーター・セルディン著(2007) 『大学教育を変える教育業績記録』 玉川大学出版部 (Peter Seldin (2004) *The Teaching Portfolio: A practical guide to improved performance and promotion/tenure decisions* 3rd ed. Anker Publishing Company, Inc.)
- 大学評価・学位授与機構監訳, 栗田佳代子訳, ピーター・セルディン, エリザベス・ミラー著(2009) 『アカデミック・ポートフォリオ』 玉川大学出版部 364ページ (Peter Seldin and J. Elizabeth Miller (2008) *The Academic Portfolio: A Practical Guide to Documenting Teaching, Research, and Service*, Jossey-Bass Higher and Adult Education)
- 吉田壘, 栗田佳代子 (2016) ポートフォリオ作成を支援するメンタリングチェックシートの開発と応用, *大学教育学会誌*, 38(1), 172-180
- 吉田壘, 栗田佳代子 (2015) 大学院生版アカデミック・ポートフォリオの開発, *日本教育工学会論文誌*, 39(1), 1-11

第3部

TPチャートを活用した改善

自分の教育を改善する

- (グループ) 改善したい内容を共有して、議論する
(18分 × 4名)
- 相談者が改善したいワーク、教材、授業案、年間計画などを共有する
 - 特に改善したい、課題だと感じている点も合わせて共有する
- 理念と照らし合わせながら改善案について議論する
 - いきなり方法の話をするのではなく、なぜその方法を使うのか、理念との対応はどうなっているかを聞きながら、建設的に話し合う
- (全体) 質疑応答

まとめ

- 今日 1 日の振り返り
 - (個人) 今日学んだこと (3分)
 - (グループ) 共有 (6分)
 - (全体) 質疑応答 (8分)